

ソーラーパネル直列のためのイラスト

12V 2 枚直列 ⇒ 24V バッテリーに充電するシステム

別紙の取り扱い説明書と合わせてご覧ください

下記の説明は 1 枚当たり 12V ソーラーパネルを 2 枚利用する場合で説明いたしております。

- 1) 直列とは、1 枚 12V のソーラーパネルを 2 枚接続する際に、A のソーラーパネルのプラスと B のソーラーパネルのマイナスのように違う極性を繋ぐことです。
- 2) これにより電流量は同じながら、電圧は 2 倍の 24V になります。
- 3) 例として、A のソーラーパネルと B のソーラーパネルを直列にする方法をご説明いたします。（ソーラーパネルと太陽電池は同じ意味で説明します）
- 4) 直列にする方法は、ソーラーパネルに配線が付属している場合は、ソーラーパネル A の配線のプラスとソーラーパネル B の配線のマイナスを繋げます。
- 5) 上記の作業が完了すると、ソーラーパネル A のマイナスと、ソーラーパネル B のプラスがあまります。ここから、充電コントローラやバッテリーに繋がります。
- 6) ソーラーパネル A のマイナスとソーラーパネル B のプラスで電圧を測定すると 24V 用になっています。通常、テスターでは 30 ～ 37V 程度の電圧が測定できると思います。
- 7) 太陽電池に配線が付属していない場合は、電気取り出し部の各極性に配線を繋いで上記と同様に接続ください。
- 8) このようにして配線が繋がったあとは、プラスの配線と、マイナスの配線を、充電コントローラやバッテリーに繋げてください。

